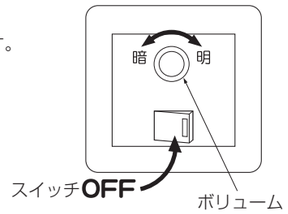
取扱説明　お客様へ　●ご使用の前に安全上のご注意と取扱説明をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

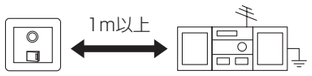
ご使用方法

●スイッチをONにしてからボリュームつまみを操作し、お好みの明るさに調光してください。
●ご使用にならないときは、スイッチで電源を切ってください。ランプが消えていても電力を消費しています。



ご使用上のご注意

●器具に殺虫剤等をかけないでください。カバー、グローブ等の落下·変質·変色の原因となります。
●使用時、内部素子の発熱により本体表面が50～65℃になることがありますが、異常ではありません。
●調光時、内部の電子部品がうなり音を発生することがありますが、異常ではありません。
●ラジオやオーディオ機器の近くでのご使用になると、音声に雑音が混ざることがありますので、下記のような対策を実施してください。
①オーディオ機器のアースを確実にとってください。
②チューナ(ラジオ)にはアンテナを張ってください。
③本器と他の機器との間は1m以上離してください。



保証について

1．保証について
この商品の保証期間は1年です(安定器は3年)。但し、ランプ等の消耗品は除きます。
詳細は弊社カタログをご参照ください。

2．保証書について
保証書が必要な場合は、下記「CSセンター」までお申し出ください。

3．補修用性能部品の保有期間
弊社は照明器具の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。
補修用性能部品(同等の機能を有する代替品含む)とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

点検とお手入れ方法

1．明るく安全に使用するために6ヵ月に1回程度、点検および清掃を行うことをおすすめします。

(1)点検項目
・ランプが切れていませんか。
・正常に点灯しますか。
・スイッチは正常に切り替りますか。
・天井との取付部、各部品の合わせ目に異常なガタツキ、ゆるみはありませんか。
・可動部は異常なく動作しますか。
・異常な臭い、音、発熱はありませんか。
・ガラス、プラスチック部品等に、ひび、割れ、変形等が発生していませんか。

(2)清掃　器具やランプにホコリがつくと、明るさを損なうばかりか、器具自体の寿命を短くします。

清掃箇所	清掃方法
金属メッキ処理 金属塗装処理	傷つきやすい部分ですから、柔らかい布で1～2回軽く拭いてください。
アクリル プラスチック	薄めた中性洗剤を使用し、洗剤が残らないようによく水洗いしてそのまま乾かしてください。乾いた布で拭くと静電気が生じ、ホコリがつきやすくなります。(但し、金属部は除く)
木·竹·籐 布·和紙	こまめにハタキや柔らかいハケ、ブラシでホコリを落とし、目の細かい柔らかな布で軽く拭いてください。
ガラス	中性洗剤またはスプレー式ガラスクリーナーを使用したのち水洗いし、自然乾燥してください。消しグローブは素手でさわると指紋がつきます。ゴム手袋等を使用してください。

※ガソリン、シンナー、みがき粉、サンドペーパー、たわし等は使用しないでください。

2．異常時の処置
異常を感じた場合は、速やかに電源を切って、販売店、工事店、または当社「CSセンター」までお申し出ください。
(部品等の取り替えは勝手にしないでください。)

商品についてのご相談

照明器具の機能·性能のお問合せは、下記までお電話ください。
CSセンター　(0570)003-937(ナビダイヤル)
受付時間(月～土曜)9：00～17：00　日曜·祝祭日は受付しておりません。

DAIKO 大光電機株式会社

施工·取扱説明書　保存用

品　番	DP-36366F·LZA-90837

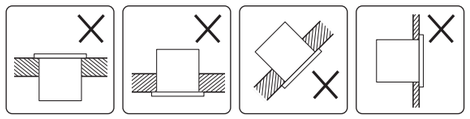
このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お客様へ
●ご使用の前に安全上のご注意と取扱説明をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●施工には電気工事士の資格が必要です。必ず販売店·工事店にご依頼ください。
●施工前に安全上のご注意と施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●本説明書は大切に保管してください。

安全上のご注意

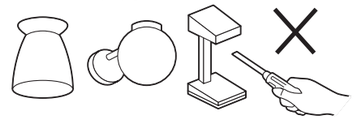
⚠ 警告　取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負うことが想定されます。

厳守　この器具は壁埋込専用器具です。指定場所以外には取付けないでください。火災·落下の原因となります。



禁止　屋内配線の電源·ケーブル等が本体に接触しないように施工してください。また、器具の取付部を除く外かくが、造営材·ダクトに直接触れないように施工してください。施工に不備があると、火災·感電の原因となります。

分解禁止　器具の改造、部品の変更は行わないでください。火災·感電·落下·転倒等の原因となります。



厳守　器具本体表示または本説明書に従って施工してください。施工に不備があると、火災·感電·落下の原因となります。

厳守　電源電圧は、器具銘板または本説明書に記載されている定格電圧でご使用ください。過電圧を加えるとランプ寿命が短くなるほか、部品が過熱し火災·感電の原因となります。

禁止　周囲温度5～35℃以外では使用しないでください。火災の原因となります。

禁止　器具の直下や近くでは、火気等を使用しないでください。火災·感電·落下の原因となります。

厳守　煙·臭い等の異常を感じたら、すぐに電源を切ってください。火災·感電の原因となります。異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店、または当社「CSセンター」にご相談ください。

禁止　器具にその他の荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わないでください。火災·感電·落下の原因となります。

⚠ 注意　取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか物的損害の発生が想定されます。

厳守　電気工事が必要な場合は、電気設備の技術基準に従って有資格者が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

注意　照明器具の取り替え時期の目安は、通常の使用状態(周囲温度30℃、1日10時間点灯)において、約8～10年です。各種部品の劣化も進みますので、交換をおすすめします。
点検は、本説明書に従ってお願いします。(3～5年に1度は販売店·工事店での点検をおすすめします。)

大光電機株式会社
〒541－0043　大阪市中央区高麗橋3－2－7　高麗橋ビル6F

施工説明 | 工事店様へ

●施工前に施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●本説明書は必ずお客様にお渡しください。

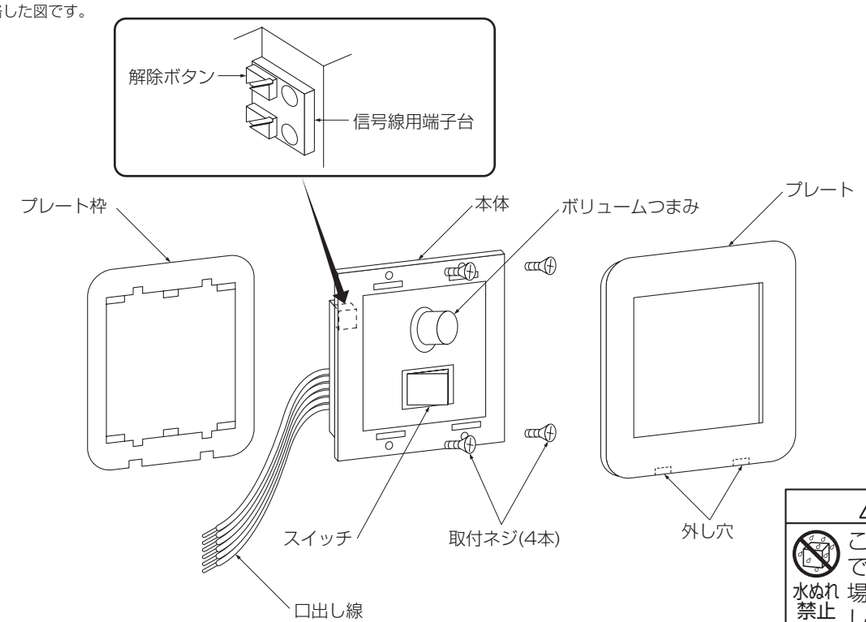
仕様

●屋内壁埋込専用器具です。
●器具にはプラスチックを使用しております。取扱いは丁寧に行ってください。
●スイッチボックス(別売)適合器具です。
(スイッチボックス(2個用 カバー付)JIS C8340/C8435適合)
●PWM信号制御調光器です。
●3路スイッチ付です。
●調光の範囲は5%～100%で連続調光が可能です。

品番	DP-36366F・LZA-90837	
定格電圧	交流　100V	
調光信号出力	12V　PWM信号　100mA　無極性	
最大調光信号線長	100m以内	
推奨適合信号線	CPEV-1P　φ0.9～1.2	
最大接続台数	① 調光器の片切りスイッチで照明器具をON/OFFする場合	② 照明器具の電源を調光器とは別にとる場合
	入力電流　15A以下	20台まで
	※①または②のどちらか少ない台数となります。	
器具重量	約0.3kg	
電源接続	口出し線	

各部の名称

※下図は、簡略した図です。



⚠ 警告

水ぬれ禁止
この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外で使用しないでください。火災·感電の原因となります。

❶ 取付け前の注意事項について

●必ず最大接続台数以下でご使用ください。
- 最大接続台数は照明器具によって異なりますので、右記表に従ってご使用ください。

⚠ 警告

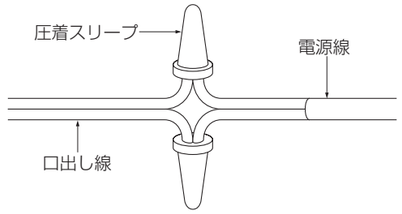
最大接続台数を超えた使用は火災の原因となります。

最大接続台数	① 調光器の片切りスイッチで照明器具をON/OFFする場合	② 照明器具の電源を調光器とは別にとる場合
	入力電流　15A	20台
	※①または②のどちらか少ない台数となります。	

施工説明

❷ 電源を接続する

●必ず電源を切ってから作業してください。
●電線は必ずφ1.6またはφ2.0の銅単線を使用しストリップゲージにあわせて9mm段むきしてください。
●プレート枠に電源線を通し、電源線と口出し線を圧着スリーブ等で確実に接続してください。

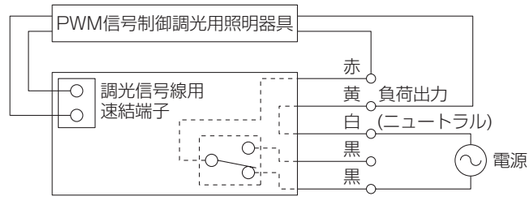


⚠ 警告

適合電線を使用し、確実に接続してください。接続が不完全な場合、火災の原因となります。	定格以外の電圧では使用しないでください。火災·感電の原因となります。

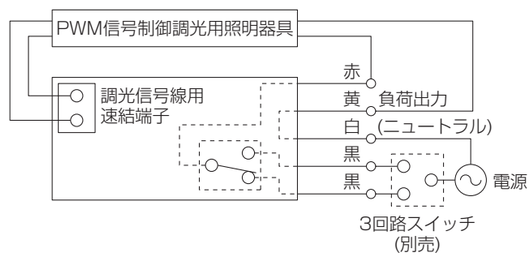
●結線方法

①1ヶ所でON/OFF操作をする場合



※あまった黒線は必ず絶縁処理してください。

②2ヶ所でON/OFF操作をする場合



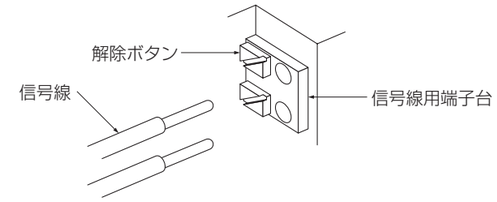
⚠ 警告

誤結線や負荷の両端を短絡しないでください。調光器内部の半導体が一瞬でこわれ、火災の原因となります。

●調光器を複数使用しても。2ヶ所で調光はできません。

❸ 信号線を接続する

●必ず電源を切ってから作業してください。
●電線は必ずφ0.9～1.2のCPEV-1P電線を使用しストリップゲージにあわせて9mm段むきしてください。
●照明器具の信号線を信号線用端子台に奥まで確実に差し込んでください。
※信号線に極性はありません。

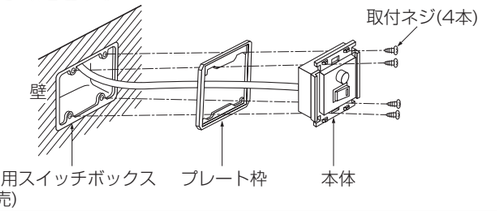


<信号線を取外す場合>

●必ず電源を切ってから作業してください。
●ドライバー等で解除ボタンを押しながら、信号線を引き抜いてください。

❹ 本体を取付ける

●プレート枠を本体にセットし、本体をスイッチボックス(別売)に入れ、取付ネジ(4本)で確実に締め付け固定してください。



⚠ 警告

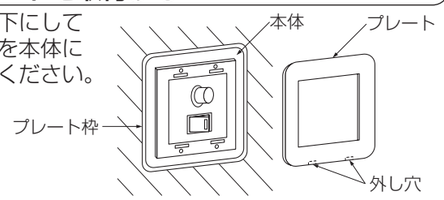
取付けが不完全な場合、落下の原因となります。

⚠ 注意

取付ネジを締め込みすぎると本体が変形し、プレートが取付かない場合があります。

❺ プレートを取付ける

●外し穴を下にしてプレートを本体に取付けてください。



⚠ 警告

取付けが不完全な場合、落下の原因となります。

<プレートを取外す場合>

●プレートの外し穴にマイナスドライバー等を差し込み、ひねってプレートを本体から取外してください。

❻ 使用前に確認する

●取付状態·点灯状態を確認してください。